

○大規模特定河川事業(令和元年度事業開始、概ね10年間)

あき じぞうじ しなね くさか
安芸川、地蔵寺川、志奈祢川、日下川で対策中

浸水被害が頻発する河川において集中的に事業を実施

背後に多くの住宅を抱える
志奈祢川(高知市)

河道の拡幅により治水能力の向上



○防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策(令和3年度から令和7年度)

「5か年加速化対策」により河床掘削・堤防整備などが推進

河床掘削・樹木伐採

かがみ
鏡川浚渫(高知市)



河床掘削による流下断面の確保

堤防の強化・河川の拡幅

おくだ
奥田川改修(いの町)



堤防強化による治水能力の向上

整備が完了(安全・安心を確保)

未整備箇所

やなせ
柳瀬川(越知町)



H26.8台風12号による河川氾濫により道路が冠水



整備のため、継続的な予算の確保が必要

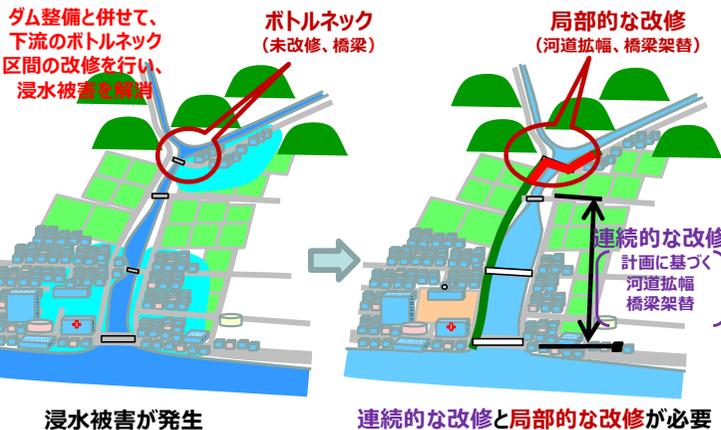
未整備箇所がまだまだあり!

政策提言

- ・「大規模特定河川事業」により、**浸水被害が頻発する河川において、抜本的な治水対策を集中的に推進**しています。
- ・「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」により、河床掘削・堤防整備などが推進され、**激甚化・頻発化する豪雨に対応する「治水対策」が大きく前進**しています。しかし、県内にはまだ未整備箇所も多く残ります。
- ・これらの事業については、各年度の予算を十分に確保するとともに、**5か年加速化対策は、期間完了後においても、中長期的な見通しのもと、引き続き、必要な予算・財源の安定的・継続的な確保**をお願いします。

○地方債制度を活用した局所的な河川改修（緊急自然災害防止対策事業債）
（令和3年度から令和7年度）

ボトルネックとなっている箇所の解消を、局所的な改修により、一定期間で集中的に整備



上流のダム建設に併せた局所的な改修
和食川（芸西村）



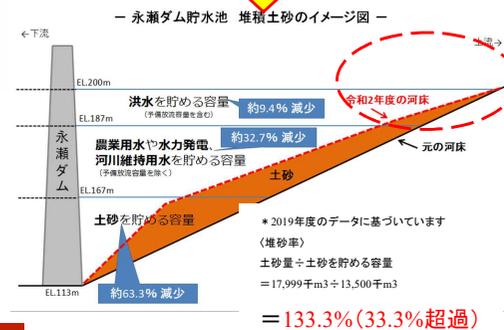
高知県の永瀬ダムにおける現状と課題

- ◆ 近年頻発する豪雨に伴う広域的な山腹崩壊の発生などにより、ダム貯水池において堆砂が進行。
- ◆ 令和2年度まで、県単費により維持浚渫等に努めてきたが、土砂流入が県単費で対応できる量を大きく上回る。



【本格的な浚渫の促進】

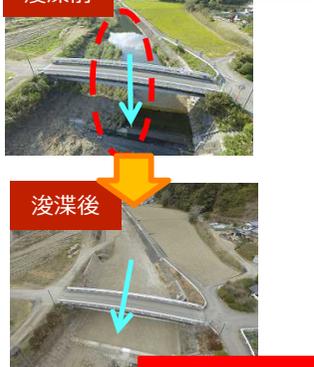
- ◆ 令和3年度から洪水調節容量を確保するため、緊急浚渫推進事業債を活用して、ダム上流部でこれまでの約16倍となる約7万m³/年の浚渫を実施



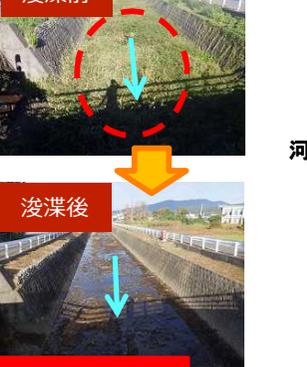
○地方債制度を活用した河川・ダムの計画的な維持掘削（緊急浚渫推進事業債）
（令和2年度から令和6年度）

浸水被害の軽減のため、河川やダムを定期的に点検し、掘削や樹木伐採等の適切な対策を行う。

上ノ加江川（中土佐町）

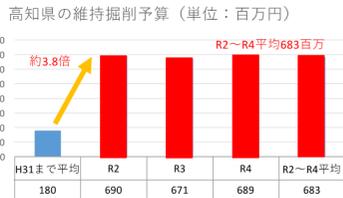


長谷川（奈半利町）



・県では地方債制度を活用し、計画的な維持掘削に必要な予算を確保（市町村も活用）
*浚渫債を活用し、制度前（180百万円）に比べ制度後（683百万円）は約3.8倍を確保

河川の維持掘削予算(単位:百万円) *ダム除く



貯水池に堆積した土砂の浚渫状況



永瀬ダムの維持掘削予算(単位:百万円)



緊急浚渫推進事業債を活用することで、堆砂の進行が軽減される

政策提言

- ・「緊急自然災害防止対策事業債」の活用により、ボトルネック箇所の局所的な改修が県下各地で進んでいます。
- ・「緊急浚渫推進事業債」の活用により、河川の計画的な維持掘削、ダムの洪水調節容量を確保するための浚渫を県下各地で行っています。
- ・これらの事業を推進することで、住民の安全・安心を確保するための、治水対策が大きく進んでいます。
- ・県内にはまだ、対策を実施しなければならない箇所が多く残るため、有利な地方債制度が必要不可欠なことから、制度の延長をお願いします。